

平成30年6月29日

長岡北スマートIC地区協議会

E8 北陸自動車道

ながおか きた

インターチェンジ

長岡北スマートICの利用状況と整備効果をお知らせします

○ 6月4日に「第3回長岡北スマートIC地区協議会」を開催し、昨年3月に開通した北陸自動車道長岡北スマートICの利用状況と整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

整備効果

○ 高速道路へのアクセス性向上

高速道路へ15分以内に到達できる人口が約4.1万人増加

○ 救急医療体制の支援

救急搬送等で長岡北スマートICを利用した実績が264件 (集計期間：H29.3.25～H30.4.30)

長岡市中之島支所から長岡赤十字病院までの所要時間が5分短縮

○ 産業活動の支援

工業団地と主要な交通結節点への所要時間が短縮

○ 広域観光の支援

関東方面から寺泊までの所要時間が5分～10分短縮

このほか詳しい利用状況と整備効果については、長岡市ホームページに掲載します。

(https://gt116.secure.ne.jp/~gt116115/facebook/nagaoka_doboku/)

※長岡北スマートIC地区協議会とは、当該ICによる安全かつ円滑な交通の確保、並びに当該ICの運営効率化及び利用者の増加を図ることを目的に設置され、協議会の委員は、関係する地方公共団体、東日本高速道路株式会社、その他の関係機関等により構成される。



■長岡北スマートIC位置図

長岡北スマートIC地区協議会

【お問合せ先】

長岡市土木部 土木政策調整課 TEL:0258-39-2307

【高速道路に関すること】

NEXCO 東日本お客さまセンター

TEL : 0570-024-024またはTEL : 03-5338-7524 (受付/24 時間対応)



E8 北陸自動車道 長岡北スマート I C 開通後の利用状況と整備効果

長岡北スマート I C 地区協議会

◆ 空撮写真・位置図



◆ 概要

開通日時：平成29年3月25日(土) 午後2時

位置：北陸自動車道 長岡 J C T ~ 中之島見附 I C 間

接続形式：本線直結型（一旦停止）

利用形態：上下線ともに乗り降り可能

利用時間：24時間

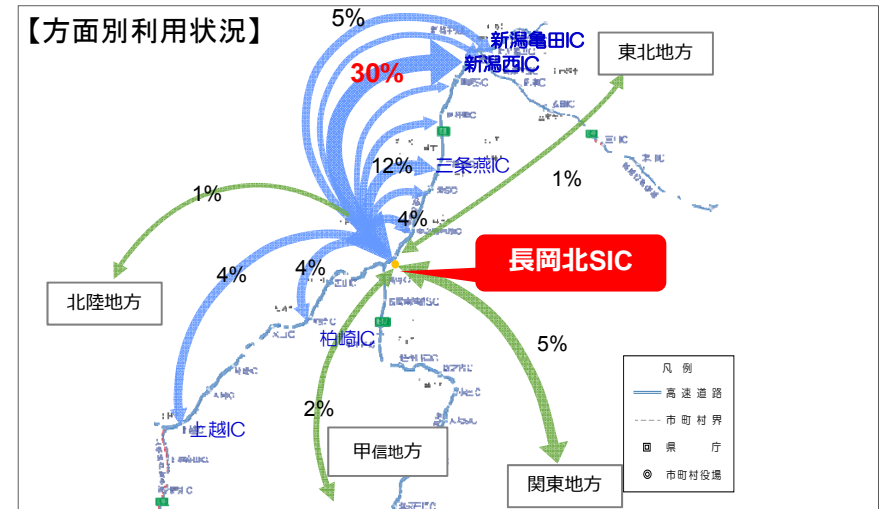
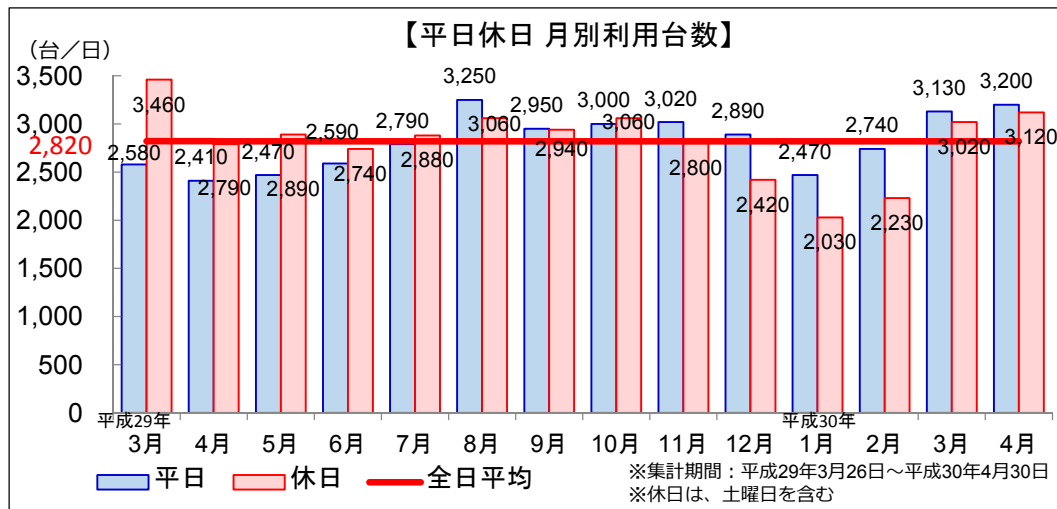
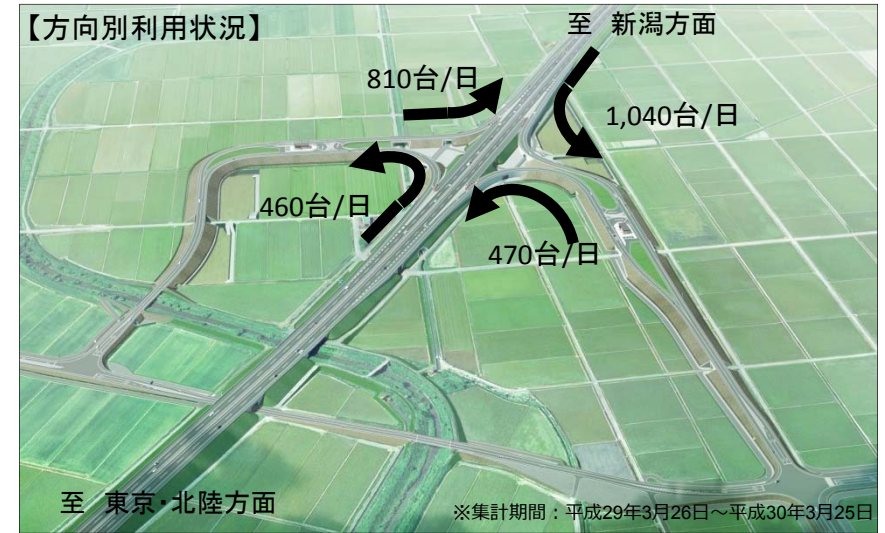
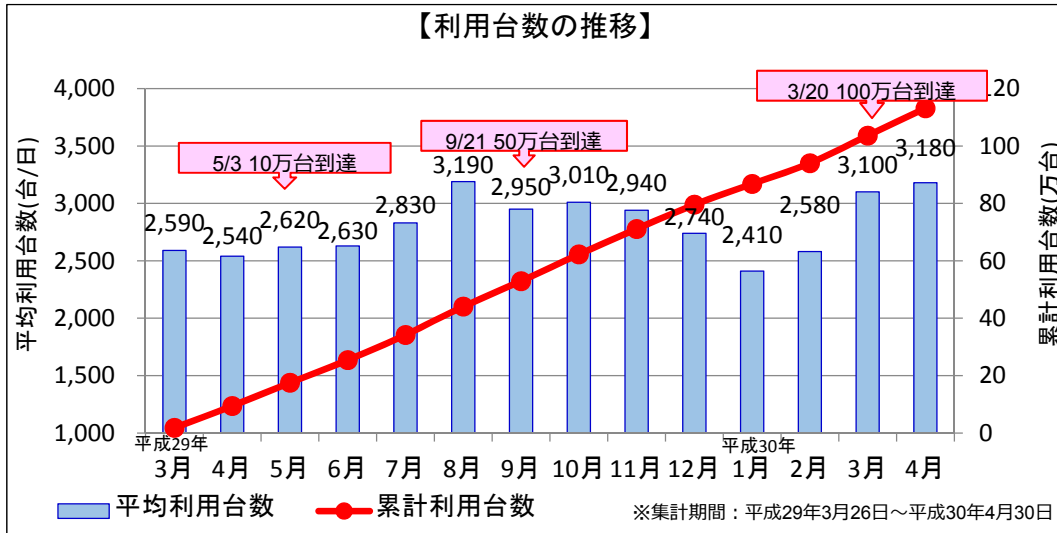
対象車両：E T C 搭載の全車種（車長制限なし）



長岡北スマートIC 開通後の利用状況

長岡北スマートIC地区協議会

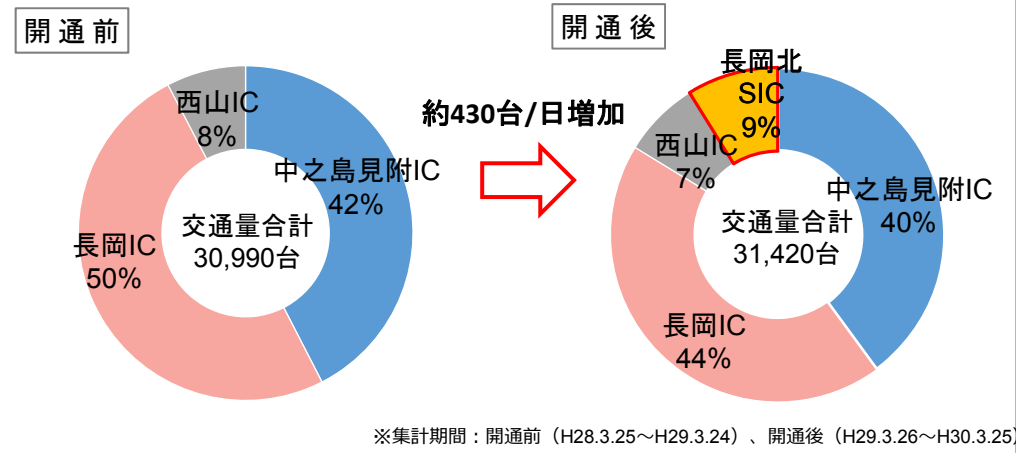
- 開通約1年の平成30年3月20日に累計利用台数が100万台に到達（県内10箇所のスマートICの中で最速）
- 長岡まつり(8/3)には過去最高の**6,260**台/日を記録
- 開通当初に比べ、平日の利用台数が増加
- 全体の90%が新潟県内の利用であり、その内30%は新潟西ICとの利用



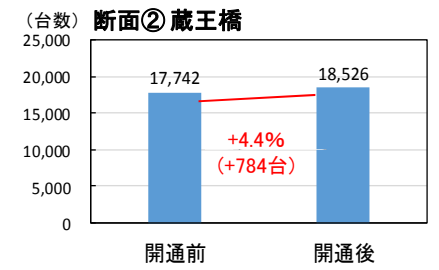
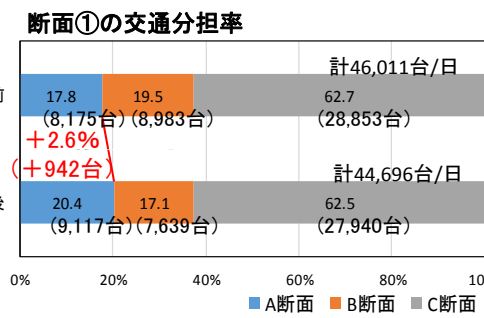
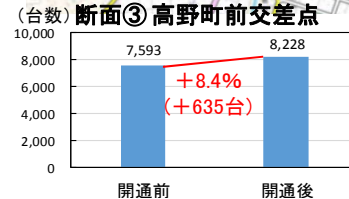
長岡北スマート I C 開通後の利用状況

- 前後 I C を含んだ交通量は約 430 台/日増加
- 長岡北スマート I C 交通量割合は 9%。前後 I C から長岡北スマート I C へ交通の転換も見られる
- 一般道の交通状況は、高速道路の交通分担率が増加し（断面①）、蔵王橋通りの交通量（断面②）、与板方面からの交通量（断面③）が増加

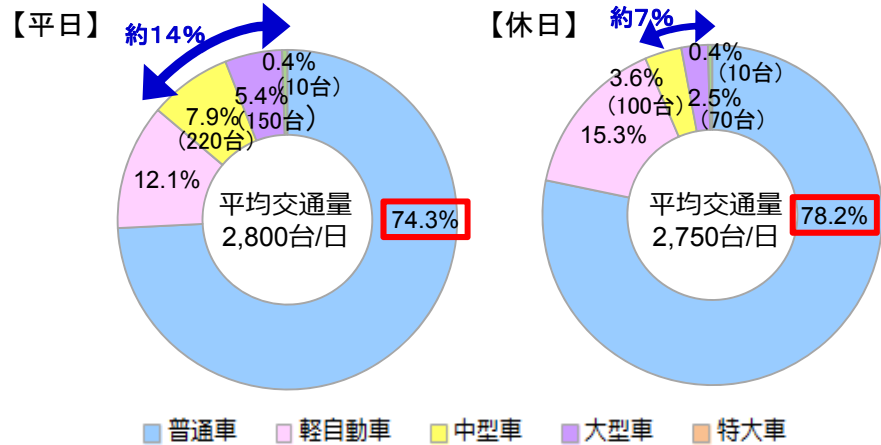
【開通前後の各ICの交通分担割合と交通量の変化】



【一般道の交通状況変化】



【車種別利用状況】



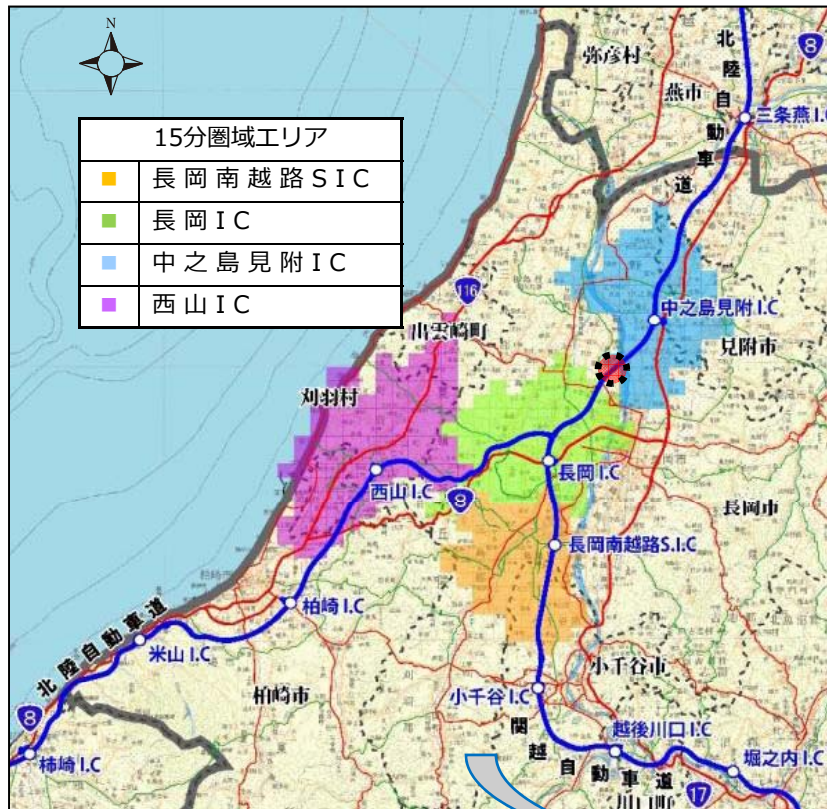
※集計期間：平成29年3月26日～平成30年3月25日

長岡北スマートIC 整備効果①

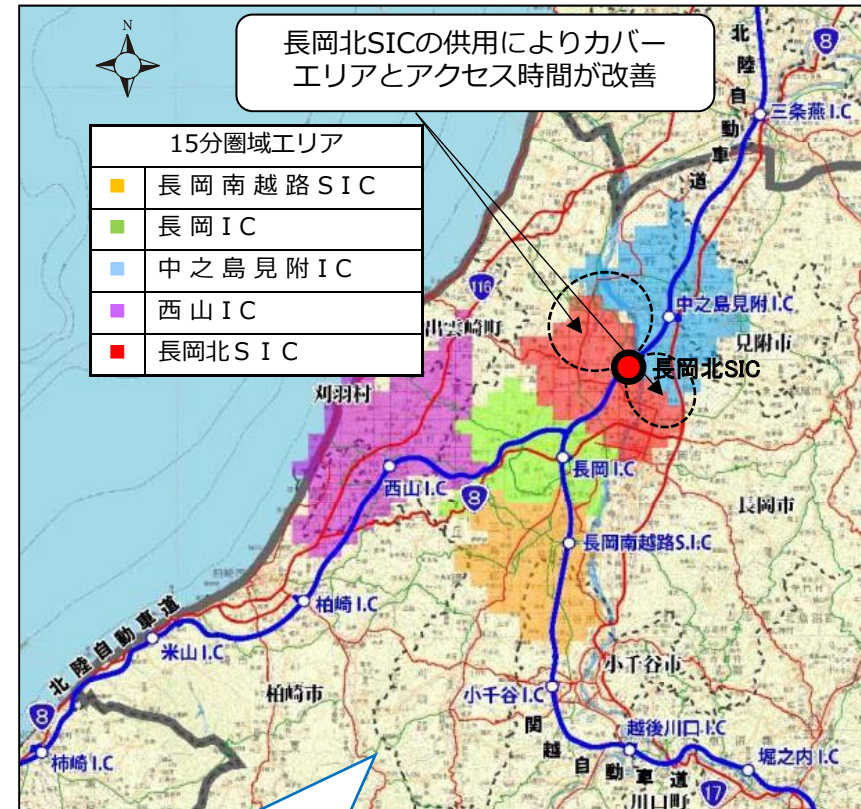
◆ 高速道路へのアクセス性向上

- 長岡北スマートICの整備により、15分以内に高速道路に到達できる人口が約**4.1**万人増加

【供用前利用圏域図】



【供用後利用圏域図】



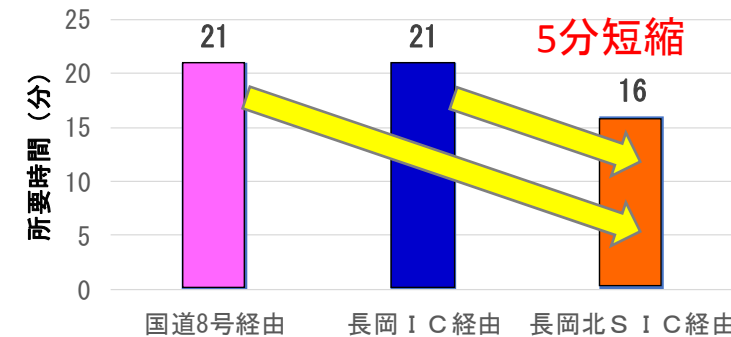
15分圏域人口 約4.1万人増

長岡北スマートIC 整備効果②

◆ 救急医療体制の支援

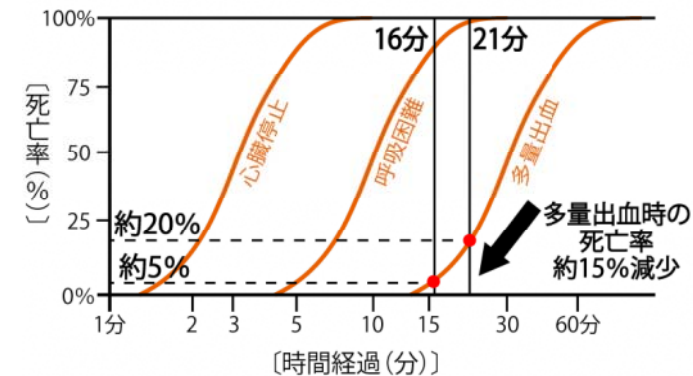
- 長岡市及び近隣市の消防署では、救急搬送等で長岡北SICを利用した実績が264件あった
- 長岡市中之島支所から長岡赤十字病院までの所要時間が約5分短縮した
- カーラーの救命曲線 を参考にすると多量出血時の死亡率が約15%減少し、救急医療体制を支援

【中之島支所から長岡赤十字病院への搬送時間】



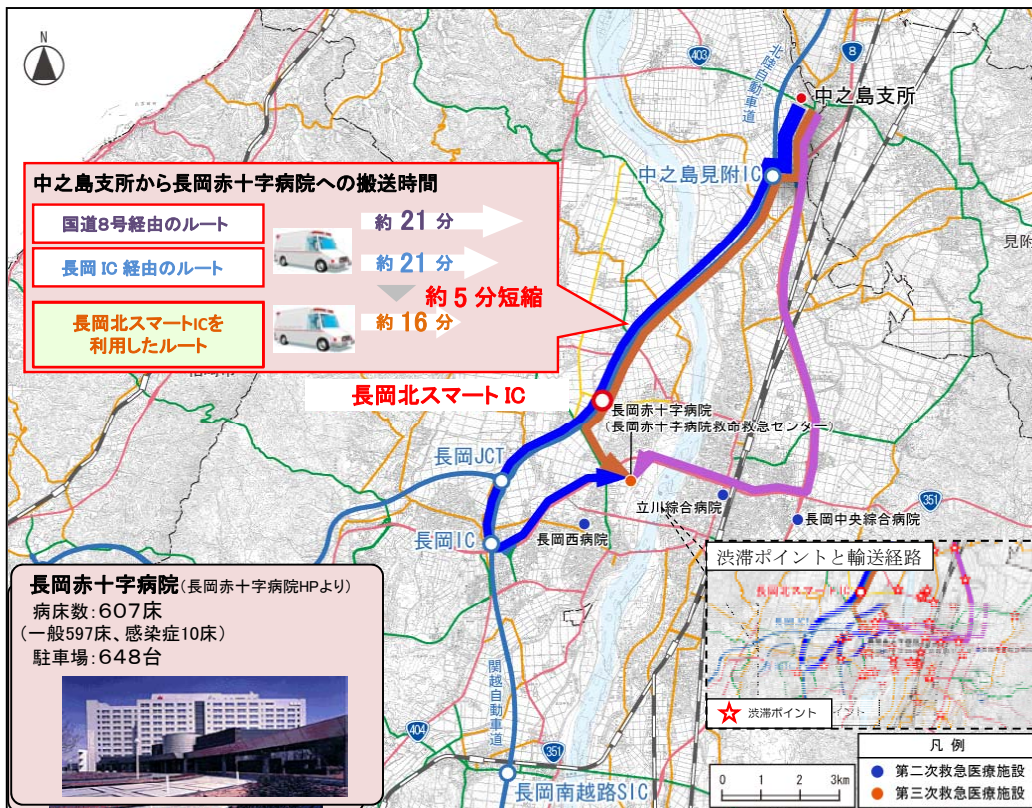
【カーラーの救命曲線*による死亡率の改善】

※心臓停止、呼吸困難、多量出血の経過時間と死亡率の目安をグラフ化したもの



消防署職員の声

新潟方面から長岡赤十字病院へ向かう最寄りICとなり、時間短縮、距離短縮につながり救命率向上が期待されます。



※所要時間: H29年10月のETC2.0における平日昼12時間(7時台~18時台)の平均旅行時間を使用。

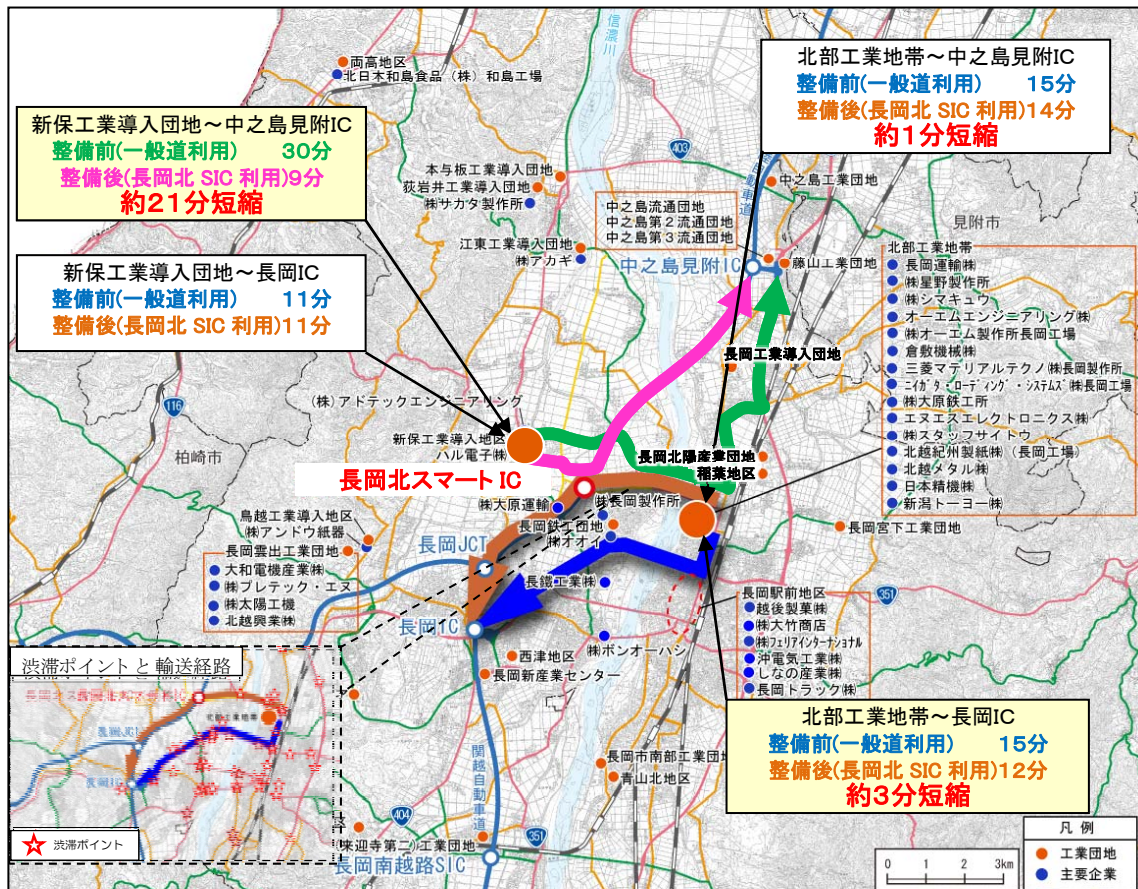
※渋滞ポイント: 第3回新潟県渋滞対策協議会資料における主要渋滞箇所(H25.1)

※長岡市、三条市の消防本部と、燕市・弥彦総合事務組合での実績値合計(H30.4末)

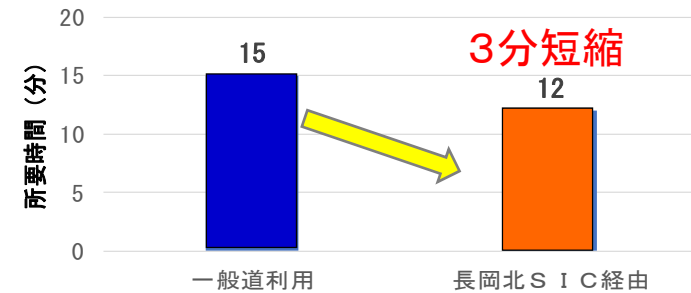
長岡北スマートIC 整備効果③

◆ 産業支援効果

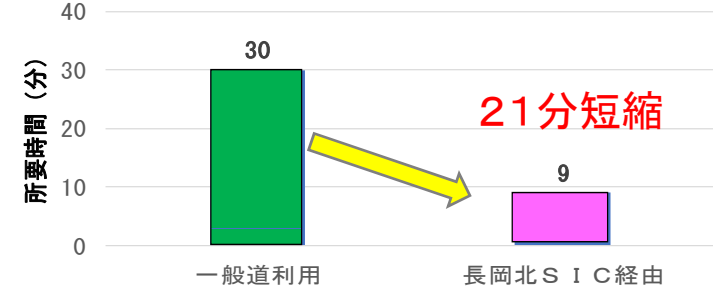
- 北部工業地帯から長岡ICへの所要時間が約3分短縮した他、新保工業団地から中之島見附ICへの所要時間が21分短縮
- 工業団地と主要な交通結節点へ所要時間が短縮し、産業活動の支援に貢献



【北部工業地帯から長岡ICの所要時間】



【新保工業団地から中之島見附ICの所要時間】



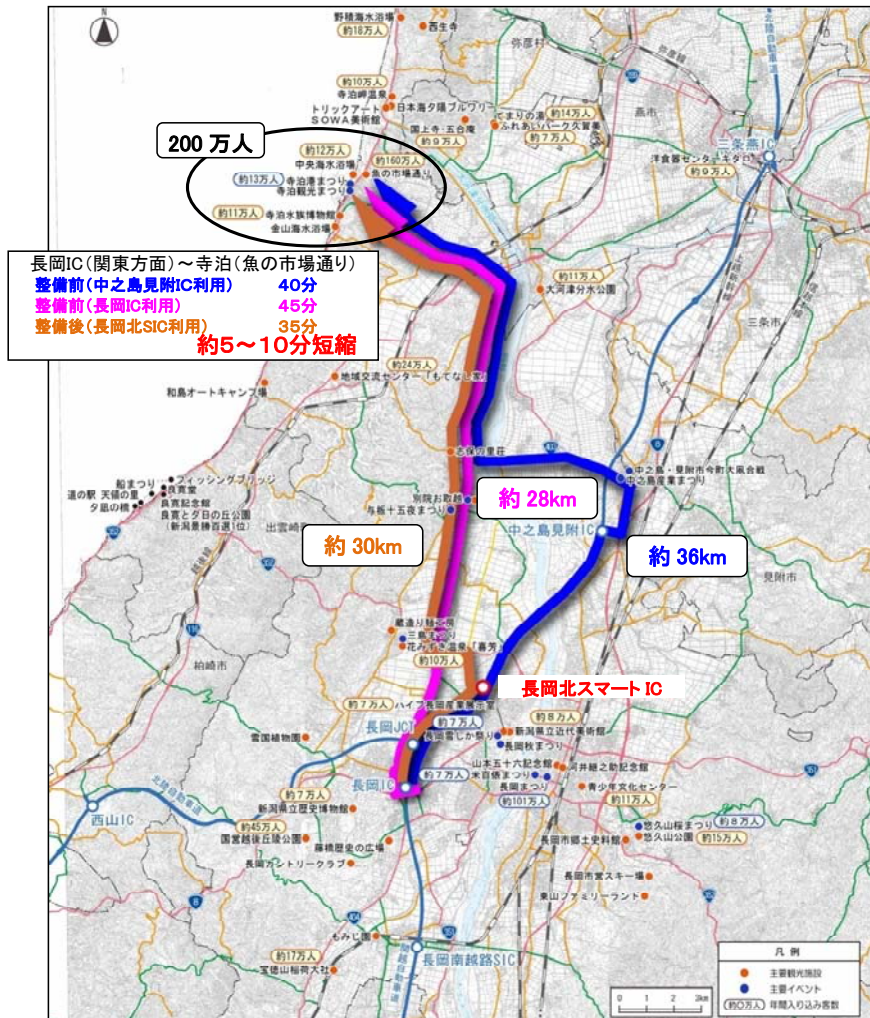
利便性がとてもよく、頻繁に利用しています。製品の出荷などにおいて、最寄りICが近くなり時間短縮につながっています。
また、スマートICが会社近くにでき、お客様にわかりやすく会社案内ができるようになりました。

※所要時間: H29年10月のETC2.0における平日混雑時(7時台～8時台、17時台～18時台)の平均旅行時間を使用。
※渋滞ポイント: 第3回新潟県渋滞対策協議会資料における主要渋滞箇所(H25.1)

長岡北スマートIC 整備効果④

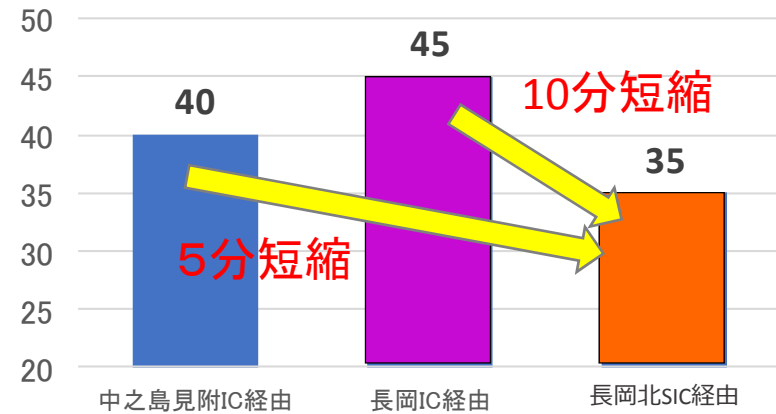
◆ 広域観光支援効果

- 長岡ICから寺泊（魚の市場通り）までの所要時間が5～10分短縮
- 寺泊には県外からの来訪者も多く、長岡北スマートICの開通により広域観光の支援に貢献



※所要時間：H29年10月のETC2.0における平日混雑時(7時台～8時台、17時台～18時台)の平均旅行時間を使用。

【長岡ICから寺泊(魚の市場通り)の所要時間】



魚の市場通り(写真:長岡市HP)
 入込客数:177万人(H28)
 営業時間:8時30分～17時
 駐車場:乗用車800台
 大型バス30台



長岡北スマートICの開通により、関東方面から寺泊へアクセスしやすくなり、魚の市場通りへお越しになるお客様が増えたように感じます。また、寺泊だけでなく、出雲崎町にも立ち寄りといったお客様もいます。

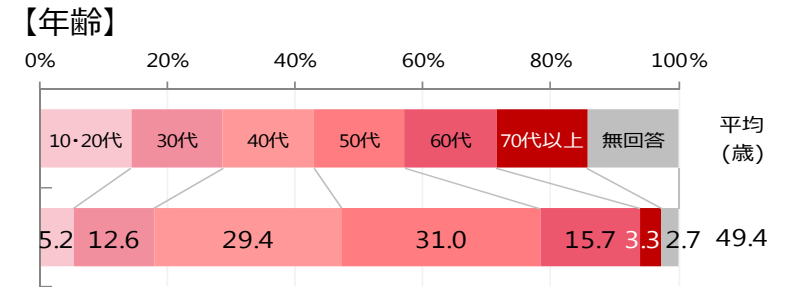
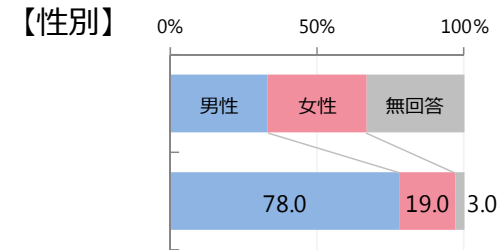


寺泊観光協会
山田会長の声

利用者アンケート調査結果

◆ アンケート調査概要と回答者属性

	利用者アンケート
調査対象	長岡北SIC利用者 2,018人 (平日 1,013人 休日 1,005人)
調査方法	ゲート(4か所)にて調査票を配布 →郵送で回収
調査日時	平成30年2月2日(金)~5日(月)配布 AM7:00~PM17:00 平成30年2月12日(月)〆切
回答数	364枚

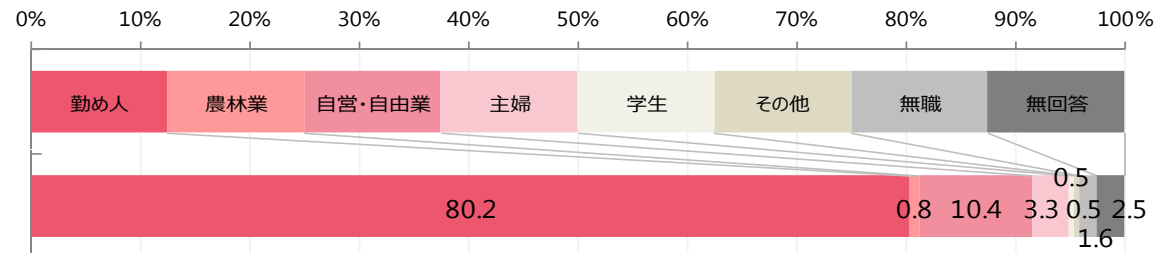


【居住地】

(%)

新潟県									
長岡市	加茂市	三条市	柏崎市	小千谷市	十日町市	見附市	魚沼市	南魚沼市	上越市
53.8	0.8	3.8	2.7	0.5	0.3	1.4	0.5	0.5	1.4
新潟県									
糸魚川市	新潟市	新発田市	燕市	南蒲原郡田上町	三島郡出雲崎町	中魚沼郡津南町	北蒲原郡聖籠町		
0.3	22.0	1.1	3.6	0.5	0.5	0.3	0.3		
栃木県		埼玉県		福島県		山形県		静岡県	
真岡市	さいたま市	福島市	山形市	山形市	鶴岡市	南陽市	盛岡市	静岡市	名古屋市
0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
									無回答
									2.7

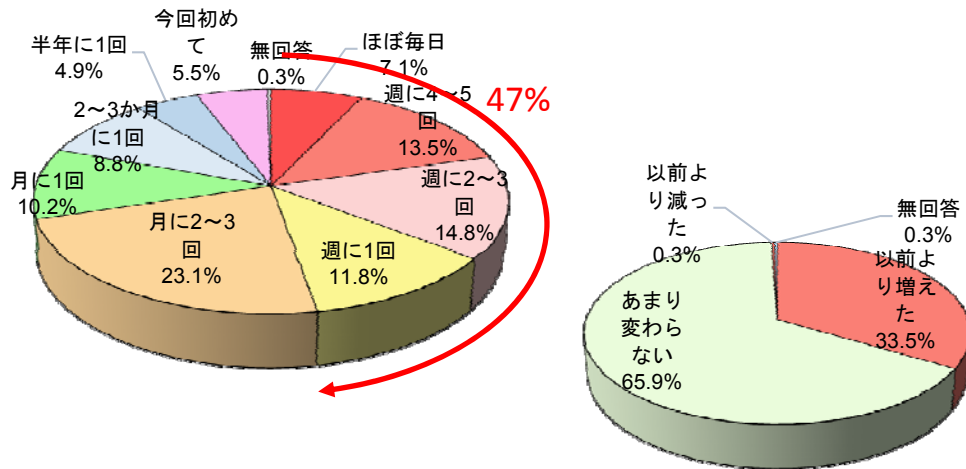
【職業】



利用者アンケート調査結果

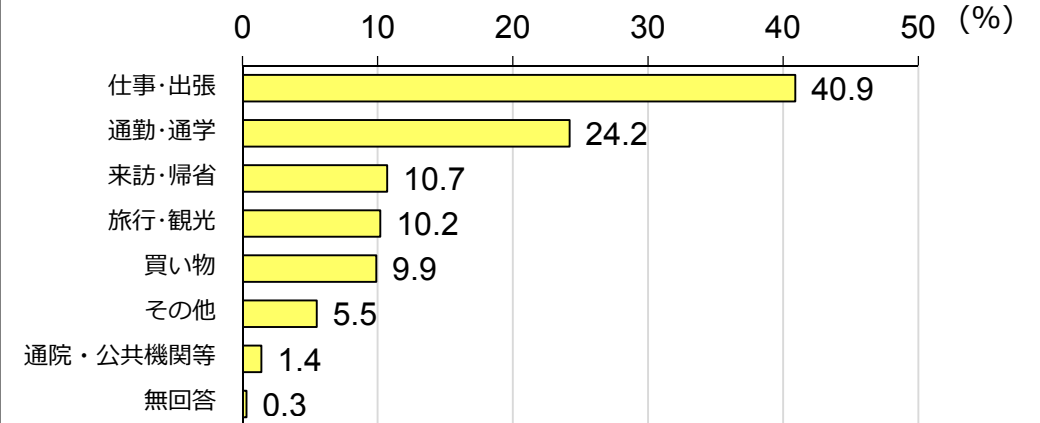
① 利用頻度、利用回数の変化

週1回以上利用される方が**約5割**
 以前に比べて高速道路の利用が増えた方が**約3割**



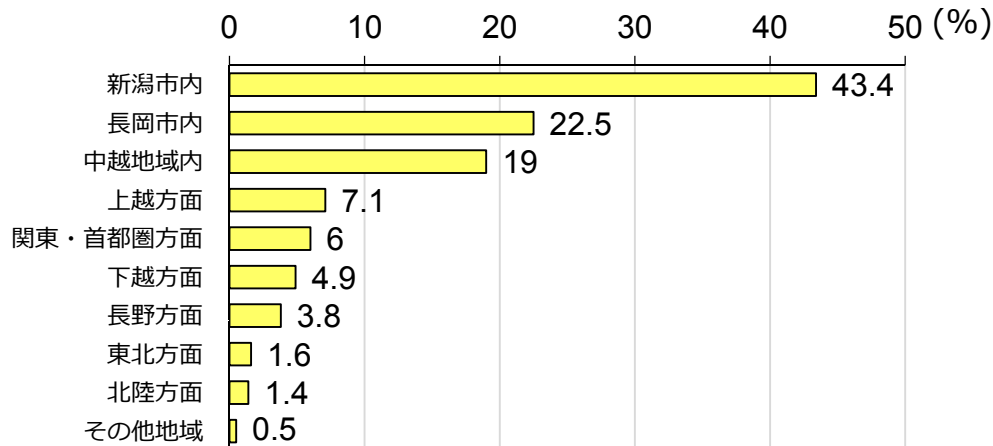
② 利用目的

「仕事・出張」が4割、「通勤・通学」が2割と仕事関係での利用が多い



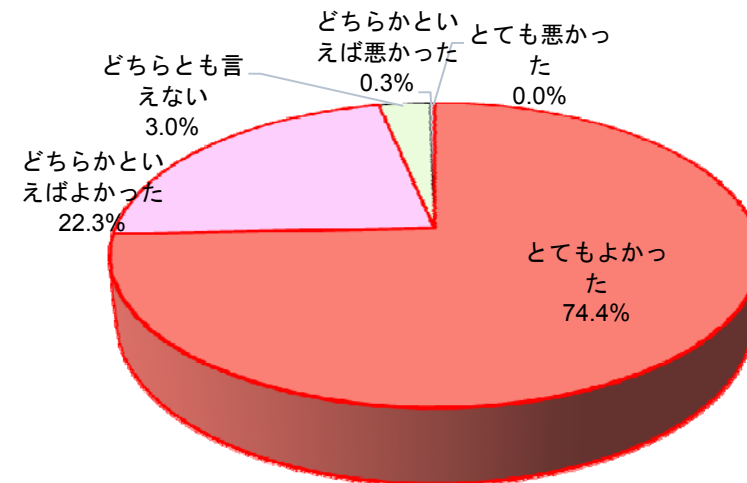
③ 主な目的地（出発地）

利用者の目的地は「新潟市内」が4割以上を占める



④ 評価

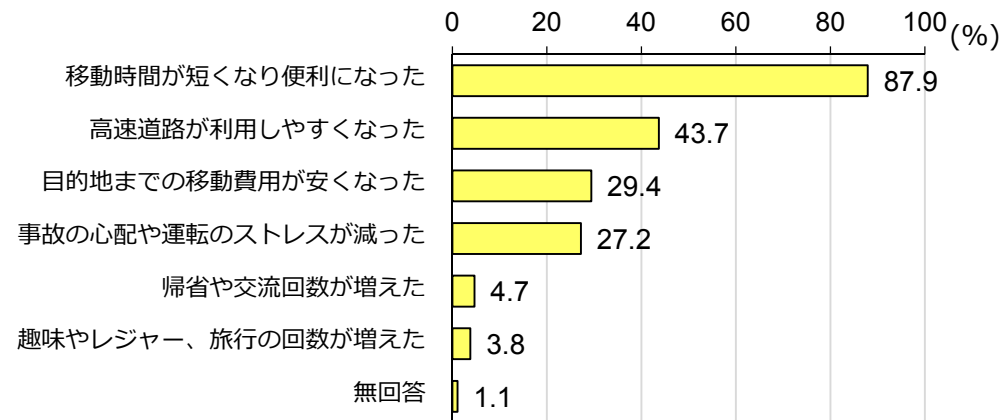
97%の利用者がスマートICができて良かったと評価



利用者アンケート調査結果

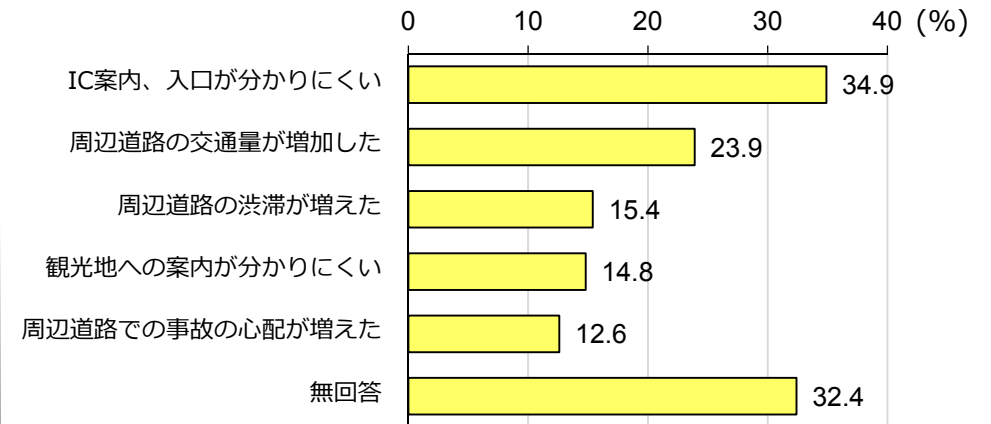
⑤ 利用効果※複数回答可

「移動時間が短くなり便利になった」が全体の約9割



⑦ 課題（不満や困ったこと）※複数回答可

「インターへの案内、入口がわかりにくい」が3割以上



課題・要望と対応策（アンケート調査結果より）

課題	対応策
① 案内誘導標識の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターを降りた先の案内がわかりにくい ・ 入口の案内標識が小さい ・ 新潟方面、東京・富山方面の入り口がわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設標識に市北部地域への案内誘導表示を追加設置済 ・ 市内中心部に向けた案内標識設置を協議中 ・ インターの入口に各方面を示す案内標識を追加設置済
② 除雪体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路の融雪強化 ・ 周辺道路の除雪強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランプ部の融雪装置についてはスマートIC整備時に設置済 ・ 市道部の除雪体制の強化
③ 渋滞対策・周辺道路の整備要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左岸バイパスまでの接続要望 ・ 蔵王橋通りに向かう狭あい部の拡幅要望 ・ 蔵王橋の渋滞対策、片側2車線化要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左岸バイパス北部延伸事業を実施中 ・ 蔵王橋通りに向かう狭あい部の拡幅については、対策を検討中 ・ 蔵王橋の渋滞対策については、交通量調査を実施し、新潟県渋滞対策協議会にて対応策を検討

スマート I C 周辺の開発計画

◆ 周辺道路の整備

左岸バイパス北部延伸事業を実施

(※一部区間のアクセス道路は平成29年12月20日に開通)

● 期待される効果

- ・ 川西地域の南北の基軸を形成し国道 8 号の渋滞緩和
- ・ スマート I C のさらなる利用促進、高速道路のアクセス性向上
- ・ 交流人口の拡大
- ・ 蔵王橋に集中している交通の分散化

ストック効果



◆ 新たな流通産業団地の整備

高速道路に近い優位性、さらなる産業振興、雇用創出を図るため

「長岡北スマート流通産業団地」 を整備

○ 概要

事業主体：長岡地域土地開発公社

名称：長岡北スマート流通産業団地

面積：開発面積 約 3.6 ha、分譲面積 約 2.6 ha

分譲区画：ニーズの高い 5,000㎡ 区画を中心に整備

附属施設：調整池 3 箇所、公園・緑地 2 箇所

○ 今後の事業スケジュール

H30年度：造成工事着手

H32年度～：順次分譲開始

